○ 論文のプロフィール

種類	総説（記述的 ・ 系統的） ・ 原著論文 ・ 事例報告 ・ 短報 ・ 特集記事 ・ その他（　　）
タイトル	
著者	
雑誌・巻・頁・年	
キーワード	
外的妥当性	臨床に役立てられるか？

○ 論文の流れ

研究の位置づけは？独りよがりな目的となっていないか？
目的－考察の整合性：目的から離れた考察となっていないか？
結果－考察の整合性：都合がよい結果のみに注目していないか？結果からはわからないことを論じていないか？
その他

○ バイアスの確認（対馬,2010）

	選択バイアス	測定（情報）バイアス
Who	誰が割り付けたか？	誰が測定したか？
What	何を基準に割り付けたか？	何を測定したか？
When	いつ割り付けたか？	いつ測定したか？
Where	どこで対象を集めたか？	どこで測定したか？
Why	研究目的は？	なぜそれを測定したか？
How	対象の割り付け方法は？	何を基準に，どのような方法で測定したか？
交絡	男女比，平均年齢，参加の動機付け？	その背景に隠れていそうな要因はないか？

○ 研究デザイン

割り付けは？	あり↓ なし→	症例研究，症例集積研究，前後比較試験 生態学的研究，時系列研究，など
経時的データか？	縦断的↓ 横断的→	症例対照研究，横断研究
データの流れは？	将来へ↓ 過去へ→	症例対照研究，（後ろ向き）コホート研究
割り付けは？	ランダム化→	ランダム化比較試験（RCT）
	準ランダム化→	準ランダム化比較試験（CCT）
	明確な基準がない→	（前向き）コホート研究 割り付けがある準実験的研究（クロスオーバー試験など）

知りたいことを明らかにする研究デザインが選択されているか？エビデンスレベルの高低は？

エビデンスレベル	分類 （AHCPR,1993）	該当する研究デザイン
Ⅰa	システマティックレビュー／メタアナリシス	複数の RCT
Ⅰb	1 つ以上の RCT	RCT
Ⅱa	1 つ以上の CCT	CCT
Ⅱb	少なくとも 1 つ以上のよくデザインされた準実験的研究	コホート研究，症例対照研究
Ⅲ	比較試験や相関研究，症例対照研究など，よくデザインされた非実験的記述研究	症例集積報告 症例報告
Ⅳ	専門家委員会や権威者の意見	記述的総説など

○ 分析方法

正規分布は？	シャピロ・ウイルク検定：実施されている ・ されていない		
割り付けは？	ランダム化 ・ 準ランダム化 ・ なんらかの基準がある ・ 不適切		
名義尺度 順序尺度	対応あり	2 変数：マクネマー検定，3 変数以上：コクランの Q 検定	
	対応なし	期待度数 5 未満 20%未満	χ^2 検定 ⇒ 残差分析 ⇒ 連関係数
		期待度数 5 未満 20%以上	フィッシャーの直接確率 ⇒ 残差分析 ⇒ 連関係数

		パラメトリック検定	ノンパラメトリック検定
間隔・比例尺度 （数が多い）順序尺度	対応のある 2 変数の差	対応のある t 検定	ウィルコクソンの検定
	対応のない 2 変数の差	対応のない t 検定 ウェルチの検定	マン・ホイットニーの検定
	対応のある 3 変数以上の差	反復測定による分散分析 ⇒ 多重比較法	フリードマン検定 ⇒ 多重比較法
	対応のない 3 変数以上の差	1 元配置による分散分析 ⇒ 多重比較法 2 元配置による分散分析	クラスカル・ワリス検定 ⇒ 多重比較法
相関	2 変数	ピアソンの相関係数	スピアマンの順位相関係数
	3 変数以上	偏相関係数	存在するが多くの場合パラメトリック検定が用いられている
回帰	2 変数	単回帰分析	
	3 変数以上	重回帰分析	
その他			

分析方法は適切に選択されているか？解釈を誤っていないか？